

「往んでよかった町」をめざして

3月6日から13日までの会期で、3月定例町議会が開かれました。今定例会では、59年度の町の予算をはじめとする17議案・1発議案が審議され、熱心な討議の結果、いずれも可決・決議されました。

また、佐瀬町長は開会にあたり、59年度の施政方針を次のように述べました。

3月定例町議会

新年度予算など 18議案を可決



空から見た私たちの町—横芝

施政方針の概要

(町長所信表明から)

数年にわたり続いている経済不況も、内需の低迷などにより、本格的な景気の回復がないまま現在まで推移してきました。昭和59年はゆるやかながらも、確実な向上が期待される年ではないかと思われまます。

一方、目を千葉県に転じてみると、昨年には人口が500万人を突破し、時を同じくして発表された「新産業三角構想」により、21世紀に向けて大きな飛躍を遂げようとしております。

空港と共に栄える町

こうした中で、我が横芝町は日本有数の貿易拠点である成田空港を間近に控え、空港周辺整備計画と相まって、ますます発展が期待されております。今後は、成田を中心とする空港周辺市町村と足並みをそろえ、「空港と共に栄える町づくり」をめざしたいと考えます。

都市計画基礎調査

さて、迎える新年度は、^{*}騒特法に基づいた都市計画の準備段階として、四百五十万円の予算により、専門コンサルタントに委託して基礎調査を行います。これは坂田池周辺整備、国道126号線沿線の栗山川に至る地帯の開発、坂田遠山線に続く将来の幹線道路計画などを作るための基礎調査で、町の将来を決定づける都市計画は、59年度以降、重点施策として取り組んでいきたいと考えます。

着工間近の坂田遠山線

今年で4年めを迎える産業開発道路(町道坂田遠山線)の建設は、これまで用地買収を約8割済ませており、59年度は当初予算九千万円(昨年比50%増)により、一気に買収を完了させ、本格的な着工の第一歩を印した

いと考えています。

新青・東線もスタート

町道改良事業として、新たに北清水新青から東を経て海岸に至る路線が、県の採択となりました。59年度は一千万円の子算を計上して用地買収にとりかかり、早期完成をめざします。

順調に進行中

農村総合整備モデル事業

農村総合整備モデル事業は、^{*}農政の重点施策として着実な成果をあげてきました。59年度は約七千万円の事業費により、鳥喰下・牛熊・寺方などの道路整備、三本松・新島荒場の集落排水整備を実施します。

農業基盤整備を充実

さらに農業関係の重点施策としては、取立の排水整備、古川のかんがい排水、新島の農道整備、屋形地域の湛水防除などで、

^{*}騒特法…航空機の騒音による障害を防ぐために、騒音地区の設定・土地利用の方針・諸施設の整備などを目的として、昭和53年につくられた法律。正式な名称は「特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法」